

## 〈熊本県立大学創立六十周年記念特集編集後記〉

熊本県立大学は、平成十九年に、昭和二十二年の女専の設置から数えて満六十周年の記念すべき年を迎え、この一年間全学的にさまざまな行事が行われました。

文学部においては、独自の企画として、学部地域向けジャーナル『文彩』第四号を、「熊本県立大学創立六十周年記念特集」号として発行することとし、文学部や文学科等に在職され、教育研究の発展にご尽力いただいた先生方、女専、女子大、県立大において文学・語学・文化を学び各地でご活躍の卒業生の皆様、そして今文学部に在籍している学生、公開講座受講生の皆さんに投稿をお願い致しました。

ご多忙の折にもかかわらず、多くの先達、卒業生の方々、在学生や公開講座受講生、現職教員から、学部と大学の思ひ出、近況報告、さらにはこれからの学部の教育・研究への叱咤激励の言葉など、熊本県立大学文学部に対する様々な思いをお寄せいただくことができました。厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、学部のこの間の歩みを振り返り、現状を確認し、今後の発展を期すことにより、熊本県立大学と学部の一巡り六十年を祝い、また文学部の姿を、地域の方々にご紹介する一つの機会を得ることができました。

本号表紙の写真三葉は、上から順に、開学当初の熊本女子大学本館（熊本城内、旧陸軍第六師団司令部玄関）、移転直後の熊本女子大学大江キャンパス本館（現熊本県立劇場）、現在の熊本県立大学文学部棟です。最初の二葉は、『熊本県立大学開学五十周年記念誌』（平成十年）からの転載です。写真の転載につきましては、同窓会の紫苑会および本学事務局から助言をいただきました。なお、文学部総文資料室の竹口祥子さんには、原稿の整理や執筆者の方々との連絡など、本号発行のために骨を折っていただきました。

玉稿をお寄せいただいた方々を始め、ご援助を賜りました方々に重ねて御礼申し上げますとともに、皆様のご発展をお祈り申し上げます。

熊本県立大学文学部『文彩』第四号  
編集委員一同